

平成27年岐阜県高校総体(兼)全国・東海高校総体県予選

ソフトボール競技 (男子の部)

日程 平成27年5月24日(日) 予備日 30日(土)

会場 羽島市 堤外グラウンド 24日
富加町半布ヶ丘公園グラウンド 30日

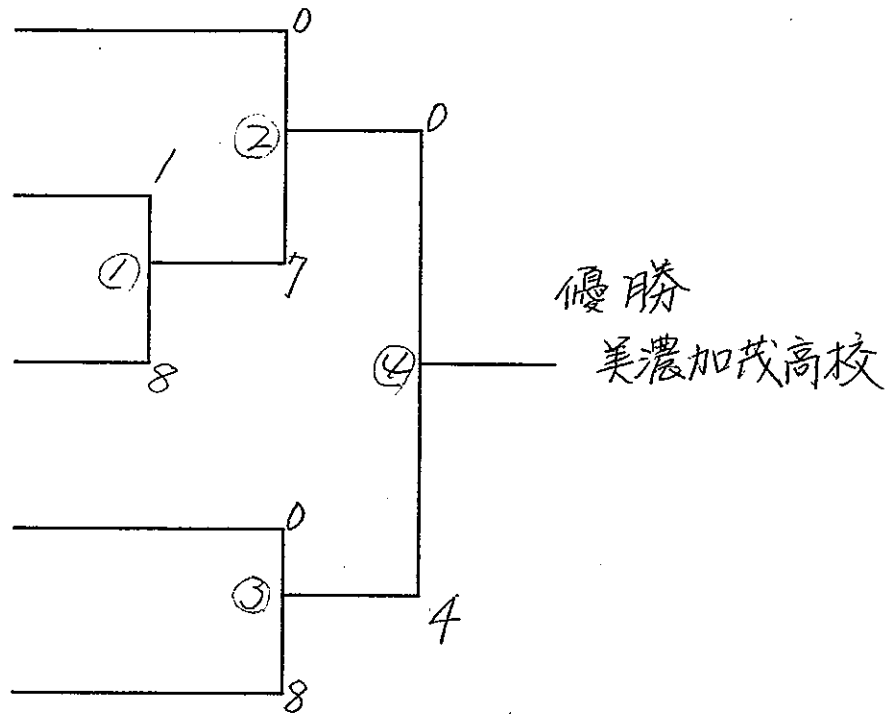
1 加茂高校

2 岐阜第一高校

3 岐阜聖徳学園高校

4 中京高校

5 美濃加茂高校



美濃加茂高等学校 全試合完封勝利で全国総体・東海総体出場を決める

昨年度の県総体の覇者・岐阜第一高校と県新人大会で優勝した加茂高校に対して、岐阜聖徳学園・美濃加茂・中京がどのように挑んでいくか、という展望の中で上記日程・場所において県総体ソフトボール競技(男子の部)が開催された。全体的に見ると、昨年度は2桁得点という大量得点の試合が多かったが、今年度の県総体はスコア的には落ち着いている試合展開だったと思う。しかしながら、1イニングで大量に点を取られているケースもある。打力で大量得点を見込める男子ソフトボールではあるが、最少失点で抑えていける守備力・投手力の向上にさらに磨きをかけていただきたいところである。

優勝を果たしたのは美濃加茂高等学校。全国総体への出場は5年ぶり10回目となった。美濃加茂高等学校は初戦の中京高校に8-0、決勝戦では岐阜聖徳学園高等学校に4-0といういずれも完封での勝利となった。中京戦で投げた泉選手と、岐阜聖徳学園戦で投げた牧田選手の2投手は最高学年ではあるものの、まだまだ発展途上中のため、さらに力をつけて各大会に挑んでもらいたい。

準優勝校の岐阜聖徳学園高等学校は、1回戦から決勝戦まで1日3試合という非常に過酷な位置での戦いであったため、決勝戦では体力的な面で苦しい展開となってしまったが、岐阜第一高校に1失点、準決勝の加茂高校には完封勝ちという守備力の高さは十分に評価できる。健闘を称えたい。

平成 27 年度 岐阜県高校総体 (兼) 全国・東海高校総体県予選
ソフトボール競技 (男子の部)

記録4号

期 日 平成27年5月24日 (日)
会 場 羽島市 堤外グラウンド

(1回戦) 試合時間 / 時間 0/分

整理番号 1

都道府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
岐阜	岐阜第一高校	1	0	0	0	0								1
岐阜	岐阜聖徳学園高校	5	2	0	0	1x								8

(先攻) 投手—捕手 中村 — 星野 勝利投手 板津
 (後攻) 投手—捕手 板津 — 小田嶋 敗戦投手 中村
 (先攻) 本塁打 _____ 三塁打 星野
 (後攻) _____ 二塁打 中川 白刺
 備考 _____

(準決勝) 試合時間 / 時間 52分

整理番号 2

都道府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
岐阜	岐阜聖徳学園高校	0	3	0	0	0	0	4						7
岐阜	加茂高校	0	0	0	0	0	0	0						0

(先攻) 投手—捕手 板津 — 小田嶋 勝利投手 板津
 (後攻) 投手—捕手 額綱 — 井戸 敗戦投手 額綱
 (先攻) 本塁打 貞松・白刺 _____ 三塁打 板津
 (後攻) _____ 二塁打 飛澤
 備考 _____

(準決勝) 試合時間 / 時間 02分

整理番号 3

都道府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
岐阜	美濃加茂高校	2	0	0	0	0	6							8
岐阜	中京高校	0	0	0	0	0	0							0

(先攻) 投手—捕手 泉 — 榎間 勝利投手 泉
 (後攻) 投手—捕手 池田 — 白木 敗戦投手 池田
 (先攻) 本塁打 _____ 三塁打 牧田
 (後攻) _____ 二塁打 泉 奥谷
 備考 _____

(決勝) 試合時間 / 時間 13分

整理番号 4

都道府県	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
岐阜	岐阜聖徳学園高校	0	0	0	0	0	0	0						0
岐阜	美濃加茂高校	1	3	0	0	0	0	x						4

(先攻) 投手—捕手 板津 — 小田嶋 勝利投手 _____
 (後攻) 投手—捕手 牧田 — 泉 敗戦投手 _____
 (先攻) 本塁打 _____ 三塁打 _____ 二塁打 小森
 (後攻) _____
 備考 _____